友愛の森(二中だより)

学校教育目標　　二中文化を創造する生徒
品格のある『学校風土』時を守り 場を浄め 礼を正す
平成30年8月30日発行

自分を磨き 他を思いやり 感謝の心を持つ

校　長　　大 﨑　　悟

今年の日本の夏は、「観測史上初」という言葉が新聞紙上やテレビ番組などをにぎわせていました。猛暑、豪雨、台風、挙げ句の果てには初雪までもが、「観測史上初」を記録しました。

富士宮市では、特に熱中症防止対策がとられ、何より人の命が大切であるという観点から、「小中学生宮おどり大会」「小学校ソフトボール大会」等、いくつかの行事が中止となりました。二中においても、暑さ指数(WBGT)の１時間毎の測定、生徒の健康状態の把握、水分･塩分補給、練習内容の工夫等、熱中症防止を最優先課題として全校態勢で取り組んできました。１・２年生にとっては、新しいメンバーで部活動に燃えたいという気持ちを十分に発散することができず、やや不完全燃焼の夏休みになったかもしれません。

そんな中で私は、山口県で２歳児の藤本理稀ちゃんが行方不明になり、３日後発見されたニュースに最も関心を持ちました。捜索３日目となり、多くの人が無事に帰ってくることは難しいのではないかという重い気持ちに陥る中、ボランティアの尾畠春夫さんが捜索開始わずか３０分で理稀ちゃんを捜し出し、無事に家族のもとへ帰してくれました。久々の明るいニュースに、驚きと喜びで日本中が笑顔になりました。

尾畠さんは、大分県在住の７８歳で、知る人ぞ知るスーパーボランティアです。２００７年の新潟県中越沖地震を皮切りに、東日本大震災、熊本地震、今年の大阪府北部地震、西日本豪雨などの災害後に、ボランティアとして被災地に出向いて復興活動に力を注いできました。そして、どこの被災地にも笑顔と元気と前向きな姿勢を届けてきました。

今回、理稀ちゃんを捜し出した時には、「小さな命が助かってくれて本当に嬉しかった。」「人の命より重いものはこの地球にない。」と涙を流していました。報道関係からは、引っ張りだこになっていますが、どんな質問にも真剣に答え、「今の自分があるのは周囲のおかげ。人に、世の中に、恩返ししたい。」「私は学歴も何もない人間。ずっと魚屋をやってきたが６５歳できっぱり辞めた。残りの人生、社会の役に立ちたいという気持ちでボランティア活動を選んだ。」と淡々と語っています。こんなに真っ直ぐで美しい生き方があるのかと、私は背筋が伸びる思いがしました。

また、尾畠さんは、ボランティアの心構えとして、「困ったときはお互い様だから､明日は我が身かもしれないから。」「現地のお世話になってはいけない。自己完結、自己責任。」「ボランティアは人を頼ったり､物をもらったりしちゃいけない。」「何も求めないのが､私は真のボランティアだと思う。」と話しています。

本校のグランドデザインに目指す生徒の姿として、**「自分を磨き 他を思いやり 感謝の心を持つ」**が示されています。尾畠さんは、正にこの姿を実現している人ではないでしょうか。私たちが尾畠さんの生き方をそのまま真似することはなかなか容易なことではありません。しかし、こういう生き方を「素晴らしい」「美しい」と感じる心は持っていてほしいと思います。

さて、いよいよ２学期が始まります。２学期こそが**「自分を磨き 他を思いやり 感謝の心を持つ」**を実現するための最高のステージです。なぜなら、二中全体で完全燃焼する行事、希翔祭(運動の部と文化の部)が行われるからです。毎年様々な場面で、多くの感動のドラマが展開されます。この感動は、一人一人が、学級のため、学年のため、そして二中のために“一生懸命”になり、みんなで力を合わせることができたとき、初めて得られるのです。二中全体の“一生懸命”を集結して、今年もみんなで多くの感動を分かち合いましょう。

応援をしてくださった皆様に心から感謝申し上げます。

６月30日（土）から本年度の中体連やコンクール等が始まり、猛暑も吹き飛ばす勢いで、力を出し尽くす二中生の姿が見られました。以下は、本年度８月末までの大会結果です。

部活動名	主な大会結果			※個人名は敬称略
野球	地区	2回戦惜敗		
サッカー	地区	3位		
男子ソフトテニス	地区	団体		準優勝（県大会出場）
		個人	石井・野村組	準優勝（県大会出場）
			中込・稲葉組	3位（県大会出場）
			小野田・奈良部組	7位（県大会出場）
	県	団体		2回戦惜敗
		個人	石井・野村組	2回戦惜敗
			中込・稲葉組	3回戦惜敗
			小野田・奈良部組	4回戦惜敗（ベスト16）
女子ソフトテニス	地区	団体		第3位
		個人	神尾・鈴木組	3位（県大会出場）
	県	個人	神尾・鈴木組	3回戦惜敗
男子バドミントン	地区	団体		準優勝（県大会出場）
		個人	望月輝範	5位（県大会出場）
			佐野善信	7位（県大会出場）
		ﾀﾞﾌﾞﾙｽ	野村・塩川	優勝（県大会出場）
			井出祐・上原組	3位（県大会出場）
			井出晋・大石組	8位（県大会出場）
	県	団体	準優勝	
		ﾀﾞﾌﾞﾙｽ	野村・塩川組	優勝（東海大会出場）
			井出祐・上原組	5位
	東海	団体	1回戦惜敗	
		ﾀﾞﾌﾞﾙｽ	野村・塩川組	ベスト8
女子バドミントン	地区	団体		3位（県大会出場）
		ﾀﾞﾌﾞﾙｽ	佐野那・長谷川組	3位（県大会出場）
			亀田・前島組	4位（県大会出場）
			佐野香・池野	8位（県大会出場）
	県	ﾀﾞﾌﾞﾙｽ	佐野那・長谷川組	1回戦惜敗
			亀田・前島組	1回戦惜敗
			佐野香・池野	1回戦惜敗
バスケットボール	地区	1回戦惜敗		
バレーボール	地区	予選リーグ惜敗		
剣道	地区	団体	予選リーグ惜敗	
		個人	2～3回戦惜敗	
卓球	地区	団体・個人	予選リーグ惜敗	
陸上競技	地区	片岡孝麻	男子100m	優勝　男子200m　優勝
		佐野涼介	男子800m	優勝
		池田瑚桃	女子走り高跳び	優勝
	県	片岡孝麻	男子200m	3位（東海大会出場）
		佐野涼介	男子800m	10位（東海大会出場）
	東海	片岡孝麻	男子200m	7位
		佐野涼介	男子800m	6位
水泳	東部	岡田　雛	200m女子平泳ぎ	5位（県大会出場）
			100m女子平泳ぎ	6位（県大会出場）
		佐野祥太	200m男子自由形	7位
新体操女子	県	佐野香帆	予選惜敗	
相撲	県	予選リーグ惜敗		
吹奏楽	東部	B編成	銀賞	

地域でも輝く 二中生の姿

７月下旬から８月にかけて、各地域における夏祭りや防災訓練が行われました。お祭り会場では出店でお客さんの対応をしたり、防災訓練では炊き出しやテント作りなど、二中生が笑顔で取り組む姿が印象的でした。地域住民の一員としての自覚を持ち、今後も地域の活動に主体的に取り組んでいってほしいと思います。